

ティーチング・ポートフォリオ・ チャート作成ワークショップ

東京大学 大学総合教育研究センター
栗田佳代子

東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部
附属教養教育高度化機構
アクティブラーニング部門
吉田 壘

目次

1. はじめに
2. TPとTPチャート
3. TPチャートの作成
4. お知らせ・参考文献

*TP：ティーチング・ポートフォリオ

はじめに

はじめに ~自己紹介~

• 栗田 佳代子

- 専門：高等教育、ファカルティ・ディベロップメント
バックグラウンドは教育心理学、心理統計学
- 東京大学フューチャーファカルティプログラム(東大FFP)
 - 「教えることを学ぶ」実践的プログラム
 - <http://www.utokyofd.com/>
- 「インタラクティブ・ティーチング」
 - 「教えることを学ぶ」オンライン講座
- メールアドレス
 - kurita@he.u-tokyo.ac.jp



はじめに ~自己紹介~

• 吉田 壘

- 専門：教育工学、ファカルティ・ディベロップメント
バックグラウンドは計算機科学、生体医工学
- 駒場アクティブラーニングスタジオ（KALS）の運営
 - KALS: アクティブラーニングを促進する教室
 - 每期 10~15 コマの授業をサポート
- KALS ワークショップの実施
- より良い授業に関するご相談
- メールアドレス
 - yoshida@kals.c.u-tokyo.ac.jp



目的と到達目標

目的

TPチャートの作成を通して、日頃の活動の理念・信念を明らかにして、それらを軸に教育活動を俯瞰し、気づきを得る

到達目標

TPチャート作成により

1. 教育活動を俯瞰できる
2. 教育理念に自ら気づき書ける
3. 教育理念と方針・方法の結びつきを説明できる
4. 長期目標・短期目標を設定できる

TPとTPチャート

ティーチング・ポートフォリオ（TP）とは

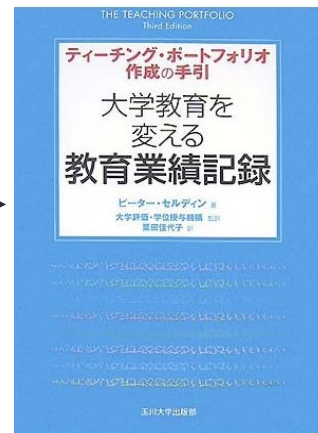
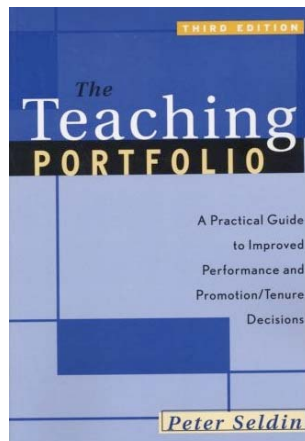
- 自らの教育活動について振り返り，その記述を根拠資料（エビデンス）によって裏付けた厳選された記録
- A4判で8ページから10ページほどの本文＋エビデンスから構成される文書

• 作成の目的

- 教育改善
- 教育活動の可視化
 - 多角的な教育業績評価資料
 - 優れた取り組みの共有
 - 情報発信

TPとは ～普及の現状～

- 欧米では教育業績評価資料として広く普及
- 日本では主として教育改善ツールとして普及途上
 - 中教審答申(2008)「学士課程教育の構築に向けて」
 - 日本では約30機関が導入済, およそ500名が作成

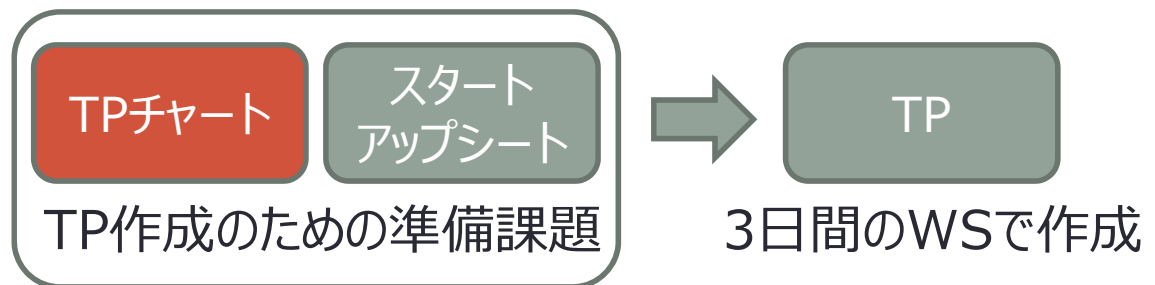


TPチャートとは

- 教育活動の俯瞰と振り返りを行い、授業改善につながることを目的としたA3判のワークシート
- もともとTP作成の体験ツールとして開発され、TP作成の事前準備としても利用される

特徴

- 個人の教育活動の視覚的整理
- 自己省察による俯瞰と構造化
- 短時間で作成が可能



TPチャートの作成

TPチャートの作成

- **ながれについて**

- 普段の活動から背後の深い思考・姿勢にせまります

- **ふせんについて**

- 一つのふせんに一つの事項を記入します

- 黄：これまで・現在のこと

- 青：これからのこと

- ：個人エピソード

- 基本的に黄色の大きなふせんを使います
- 異なる色, サイズのふせんを使う場合には適宜お知らせします
- シェアを行いますので丁寧な字でお願いします

専門 名前	作成 目的	感想	2 min
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #f0f0e0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門・お名前を直接記入してください ・ 作成目的を直接記入してください 例) 授業の改善, 気づきを得たい, 活動を整理したい </div>		理由	目標
		責任	
改善・努力		成果・評価	

直近 1 年以内の教育活動をあげてください

•授業科目

古文1年A組

生物 2年理系

•授業以外の活動

例) 進路指導

就職指導

剣道部顧問

入試問題作成

オープンキャンパス

6枚以上に
なりそうなら
ふせん小

責任

改善・努力

成果・評価

教育活動における改善および改善を目的とした活動をあげてください

改善の記入例:

反転授業の導入
ループリックの導入

努力の記入例:

授業改善の研究会に週1回参加
アクティブラーニングについての勉強会を主宰
授業力向上のためのオンライン講座を受講
TPチャートの作成

3枚以上になりそうなら
ふせん小

改善・努力

成果・評価

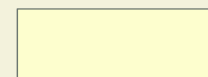
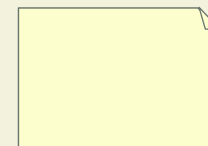
教育活動によって得られた生徒の成果および生徒・第三者からの評価をあげてください。

成果の記入例:

- 生徒の生物への興味が増した
- 試験の平均点が上昇した
- 生徒が自由研究で受賞した
- 部が大会で優勝した

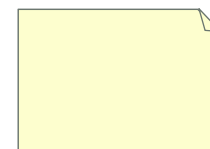
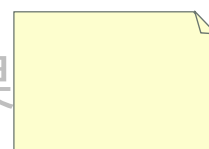
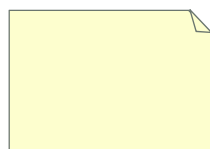
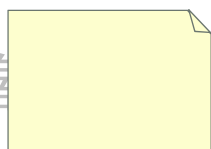
評価の記入例:

- 授業評価が高い
- 授業方法について講演を依頼された
- 授業研究会で高い評価を得た
- 優秀教員賞を受賞した



5枚以上になりそうなら
ふせん小

目標



シェア1 教育の責任と改善・評価成果

所属・専門についての自己紹介をしましょう。

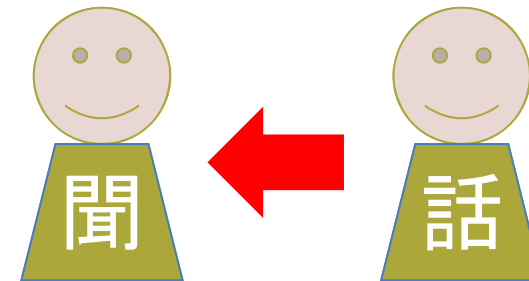
手元のチャートをもとに、
教育活動として行っていること、および改善・努力、
成果・評価について相手に説明しましょう。

<話し手>

- 教育活動をわかりやすく説明する
- 専門用語は極力使わない

<聴き手>

- まずは興味を持って聴くことに徹する
- ポジティブなフィードバックをする



方法

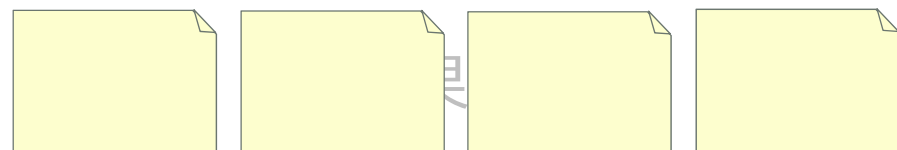
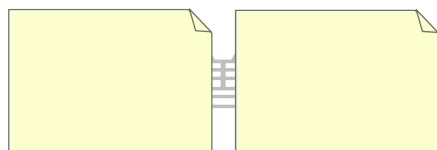
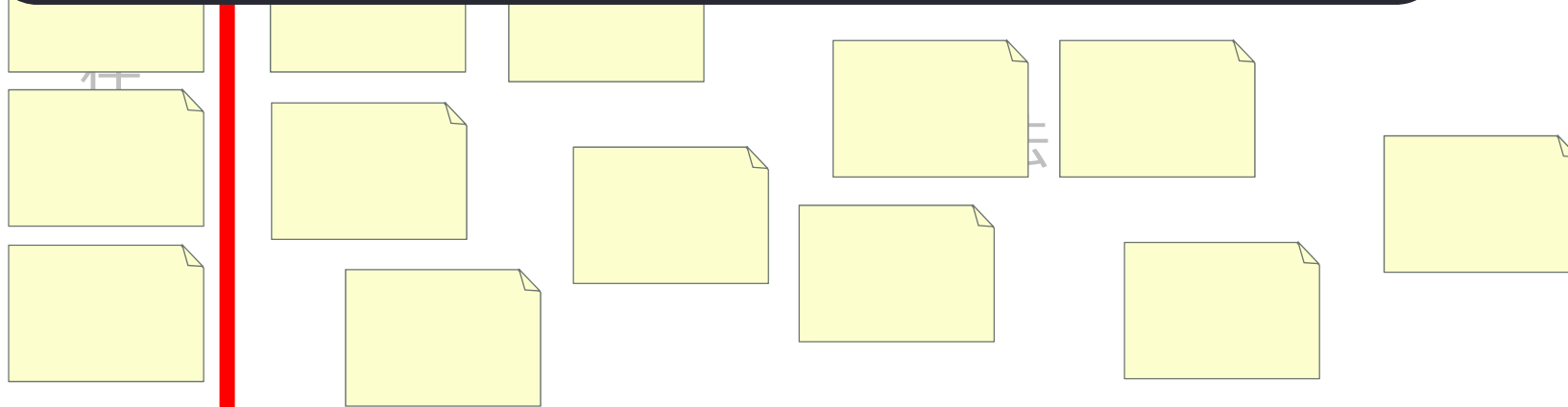
感想

7 min

これまでの教育経験において
いつも行っていること
重要視して用いていること
自分の教育を特徴づける方法
をあげてください。

「考え」ではなく「行い」を書いて下さい

目標



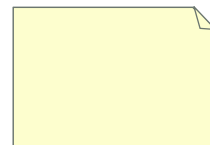
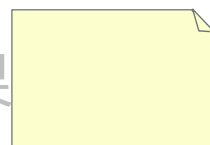
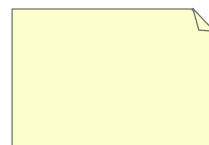
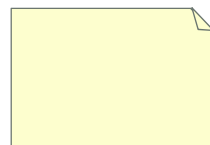
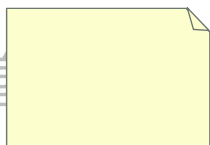
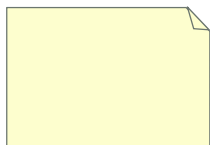
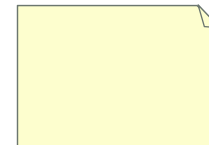
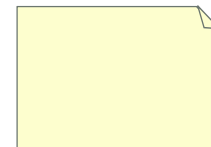
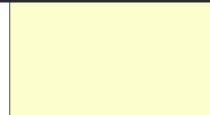
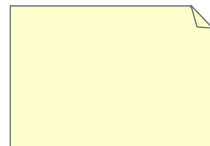
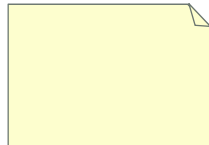
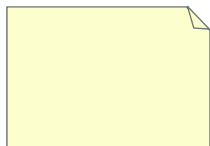
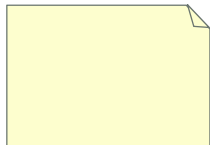
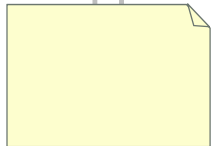
方法

感想

7 min

目標

例) 小テストを授業最初に毎回している
授業に関係する新聞記事を見せる
できるだけ早く名前を覚える
授業開始・終了時間を厳守している
授業にかぎらず相談にのる
教科書を使わない
多くの生徒に発言の機会をつくる
グループ活動を多用している



方針

感想

7 min

「方法」にあげたふせんをグループピングしながらそれらの方法を用いている理由を「方針」としてあげてください。

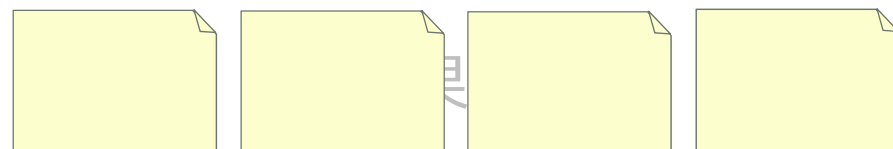
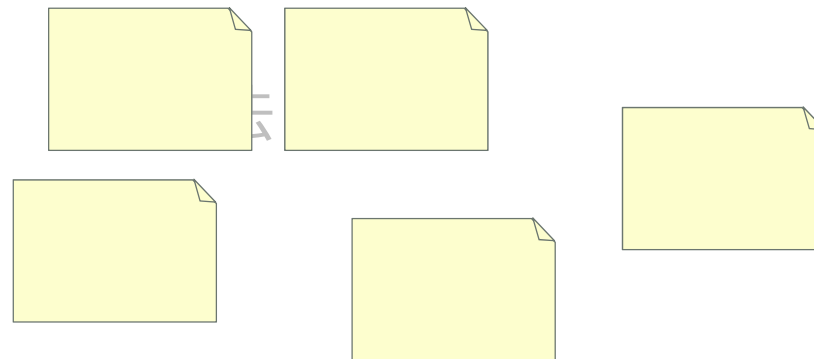
「なぜこのようなことをしているのか」について考えてください。

- ・なぜ生徒にとってこの方法が大切なのか？
- ・この方法を使って生徒にどう成長してほしいのか？
- ・教えているものの何を学んでほしいのか？

といった観点から考えてみるとよいでしょう。

目標

方針



方針

感想

7 min

例)

・「小テストの実施」という方法に対して「基礎知識を確実に身につける」という方針

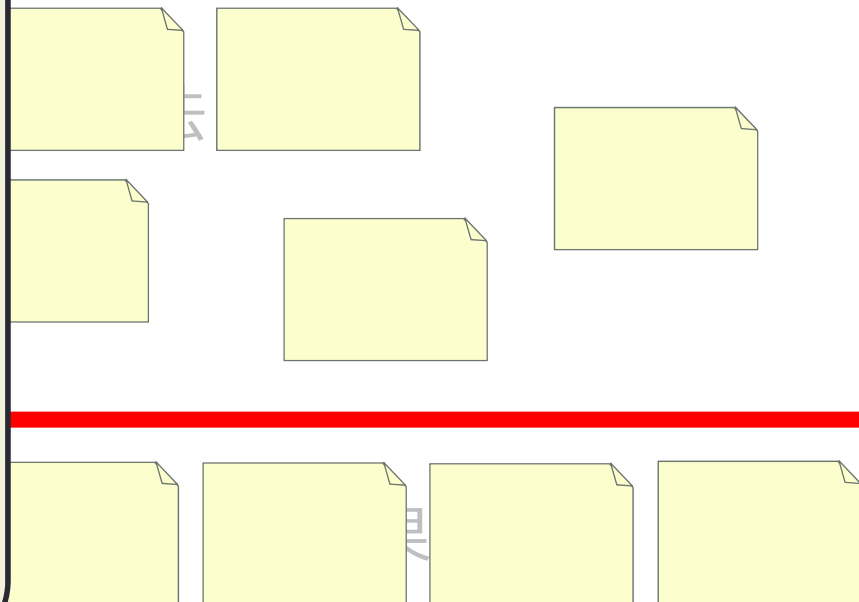
・「できるだけ早く名前を覚える」という方法に対して「信頼関係を築く」という方針

・「授業開始・終了時間を厳守している」という方法に対して「教員が自らルールを守る」という方針

・「多くの生徒に発言の機会をつくる」と「グループ活動を多用している」という方法に対して「仲間と活動することで学びが深まることを実感させたい」という方針

目標

方針



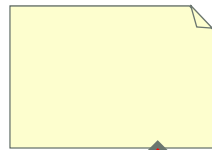
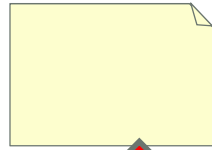
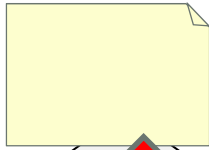
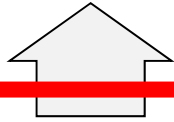
方針

感想

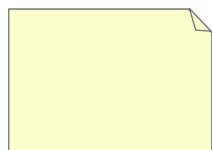
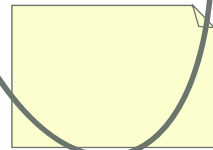
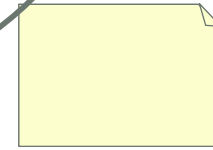
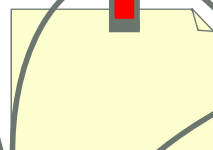
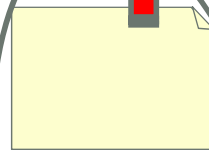
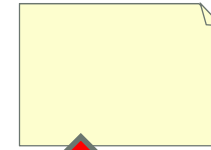
7 min

理念

目標



針



方針

感想

7 min

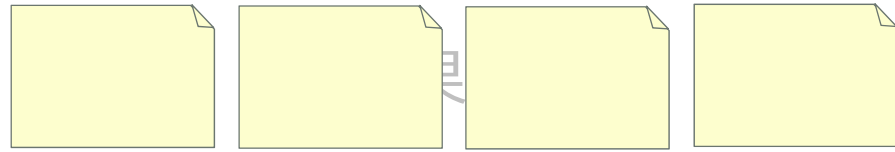
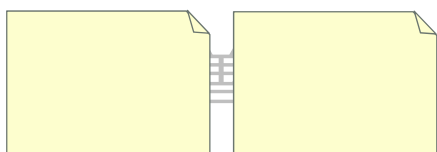
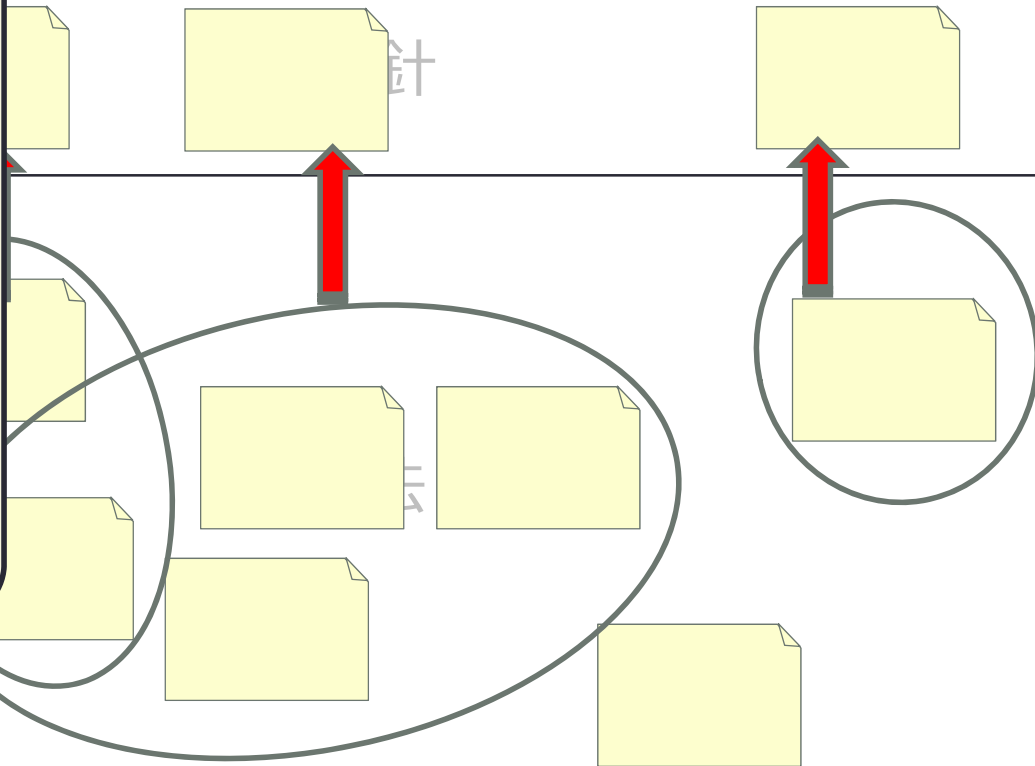
グループは線で囲みましょう。

グループはいくつになってもかまいませんが2つ以上みつけてください。

事項が一つしかないグループ、あるいは複数のグループにまたがる「方法」があってもよいです。

理念

目標



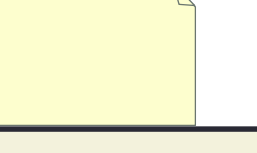
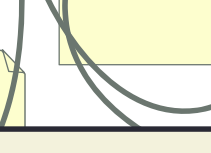
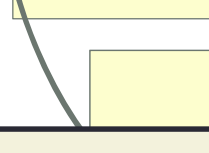
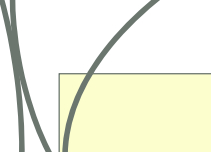
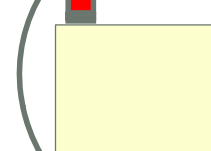
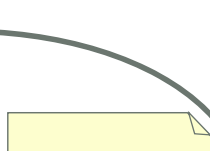
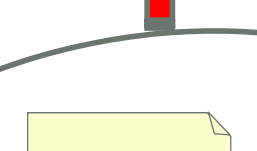
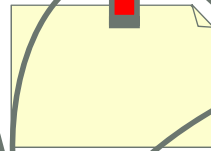
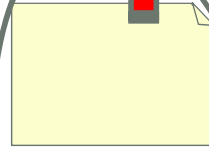
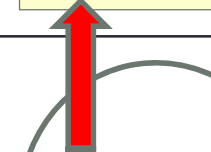
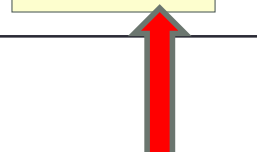
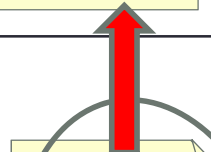
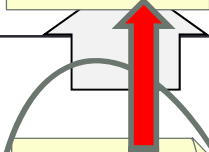
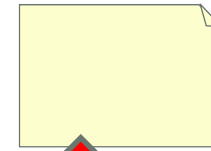
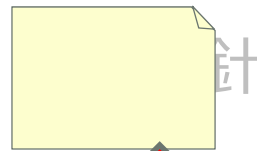
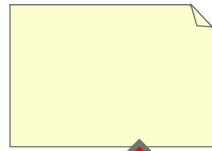
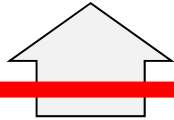
理念

感想

7 min

理念

目標



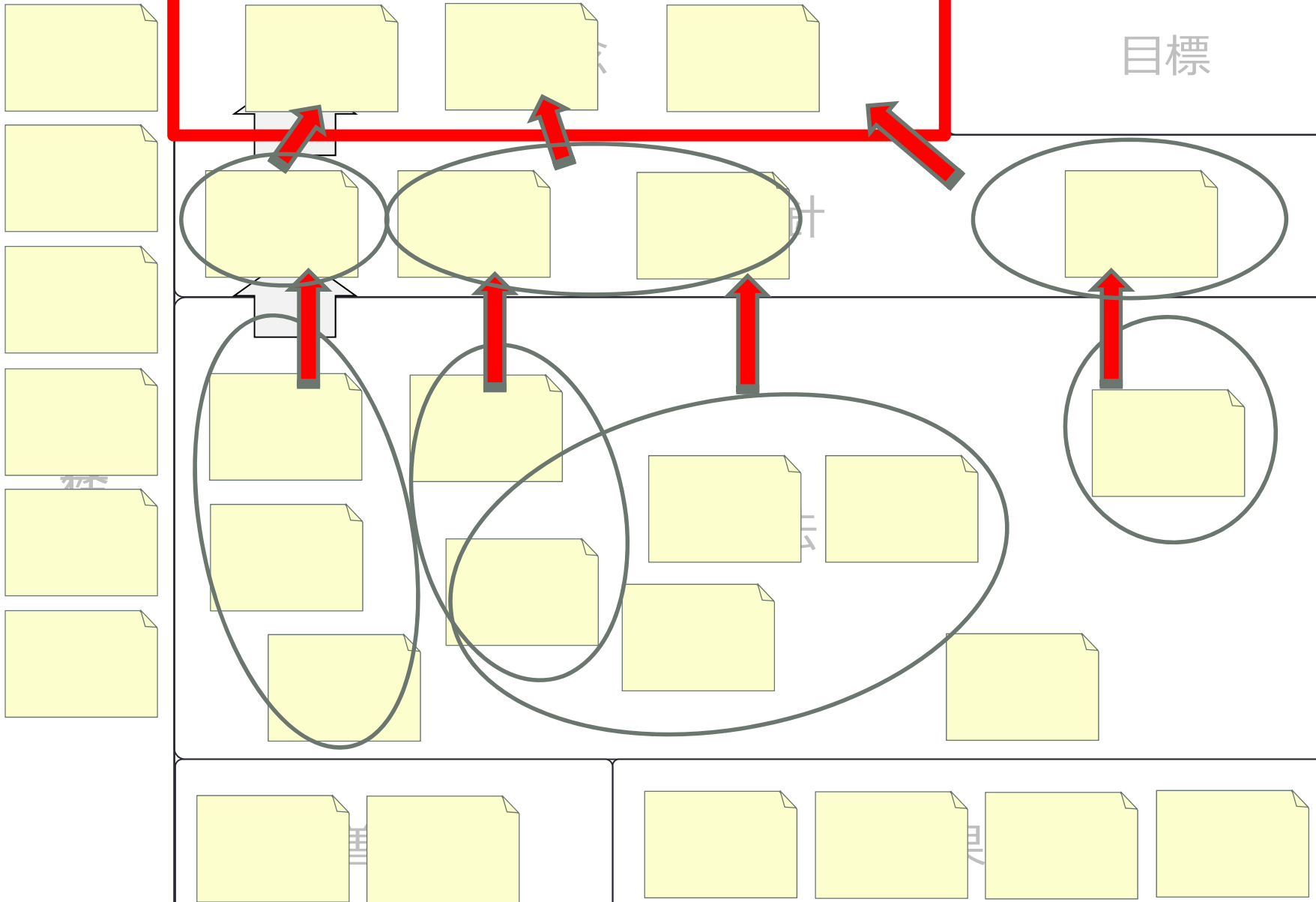
「理念」に「方針」であげた事項をグルーピングしながら、その方針を用いている理由をあげてください。

理念

感想

7 min

目標



理念

感想

2 min

目標

「理念」について、理念を持つに至った個人的なエピソードがあれば**りんごのふせん**にあげてください。
例) 影響を受けた人物
影響を受けたできごと

対応づけの確認

感想

5 min

目標

「理念」「方針」「方法」が対応づいているかどうかについて確認をしてください。

シェア2 教育理念と方針・方法

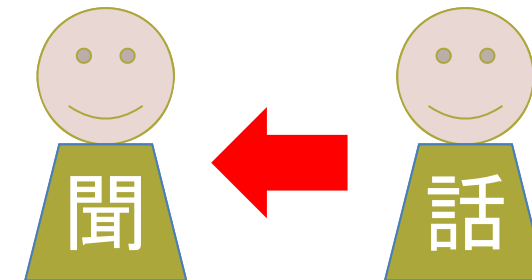
手元のチャートをもとに、「教育理念」および「理念を具現化している方針・方法」とともに、相手に説明しましょう。

<話し手>

- 理念と方針・方法の対応付けを説明する
- 専門用語は極力使わない

<聴き手>

- まずは聴くことに徹する
- ポジティブなフィードバックをする
- 理念については、「繰り返し」、「言い換え」あるいは「さらなる問いかけ」



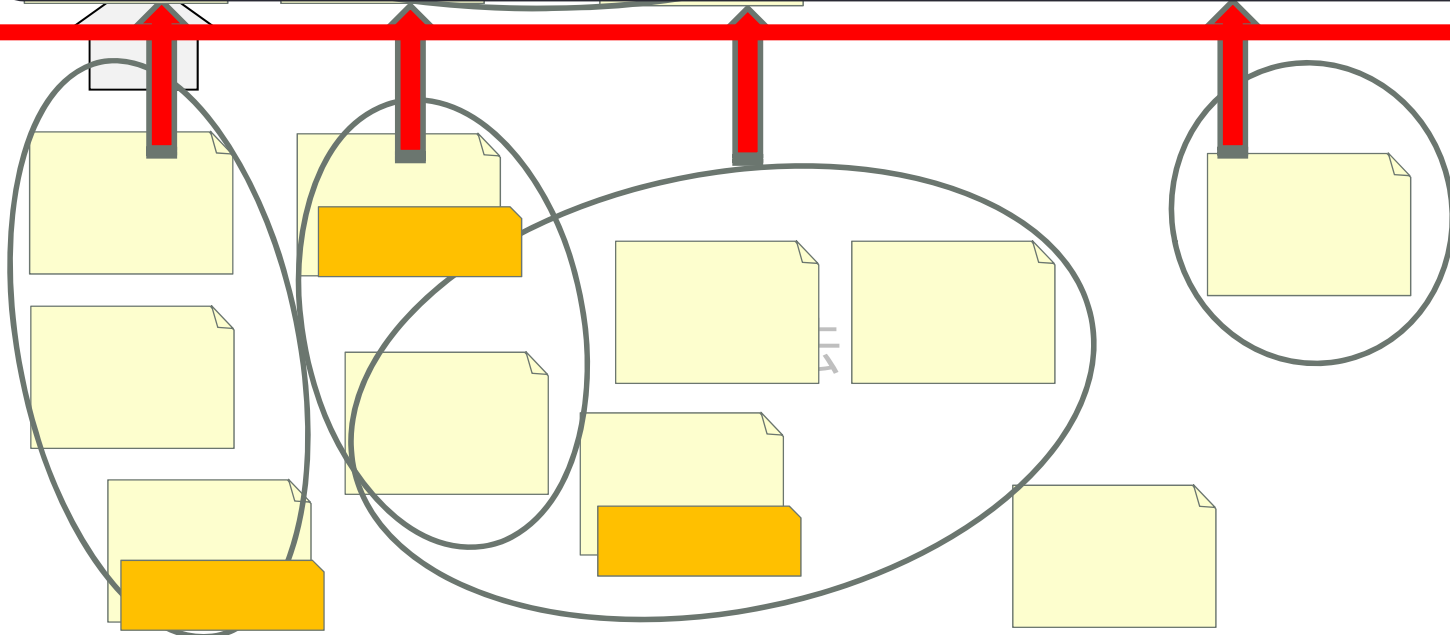
対話のなかで、新しく考えたこと、整理し直したことを反映させてください。

エビデンス

感想

3 min

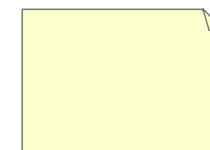
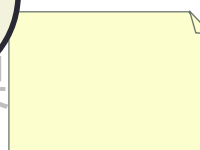
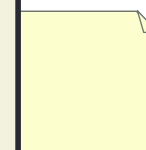
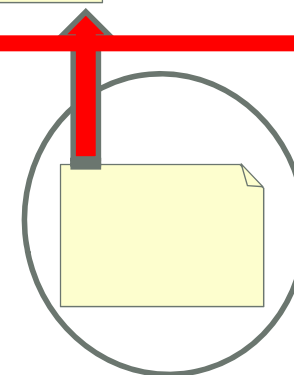
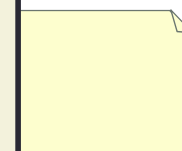
赤い枠で囲まれた部分のふせんに書かれたことの根拠資料(エビデンス)を黄色のふせん小に記入し, 該当するふせんに重ねてはって下さい。



エビデンスの記入例

- 責任： 時間割
任命書
シラバス
- 改善・努力： 勉強会のチラシ
研修の参加証
資格取得証
- 成果・評価： 優秀なレポート例
授業評価の結果
同僚からのフィードバックコメント
生徒の進路データ
- 方法： 配布資料の現物
テスト問題
グループワークの課題資料
授業ノート
授業の様子の写真

目標



シェア3 エビデンス

ふせん小をつけられなかったふせんのエビデンスを互いに考えましょう。考えたエビデンスは青のふせん小に挙げ、該当するふせんに重ねてはりましょう。

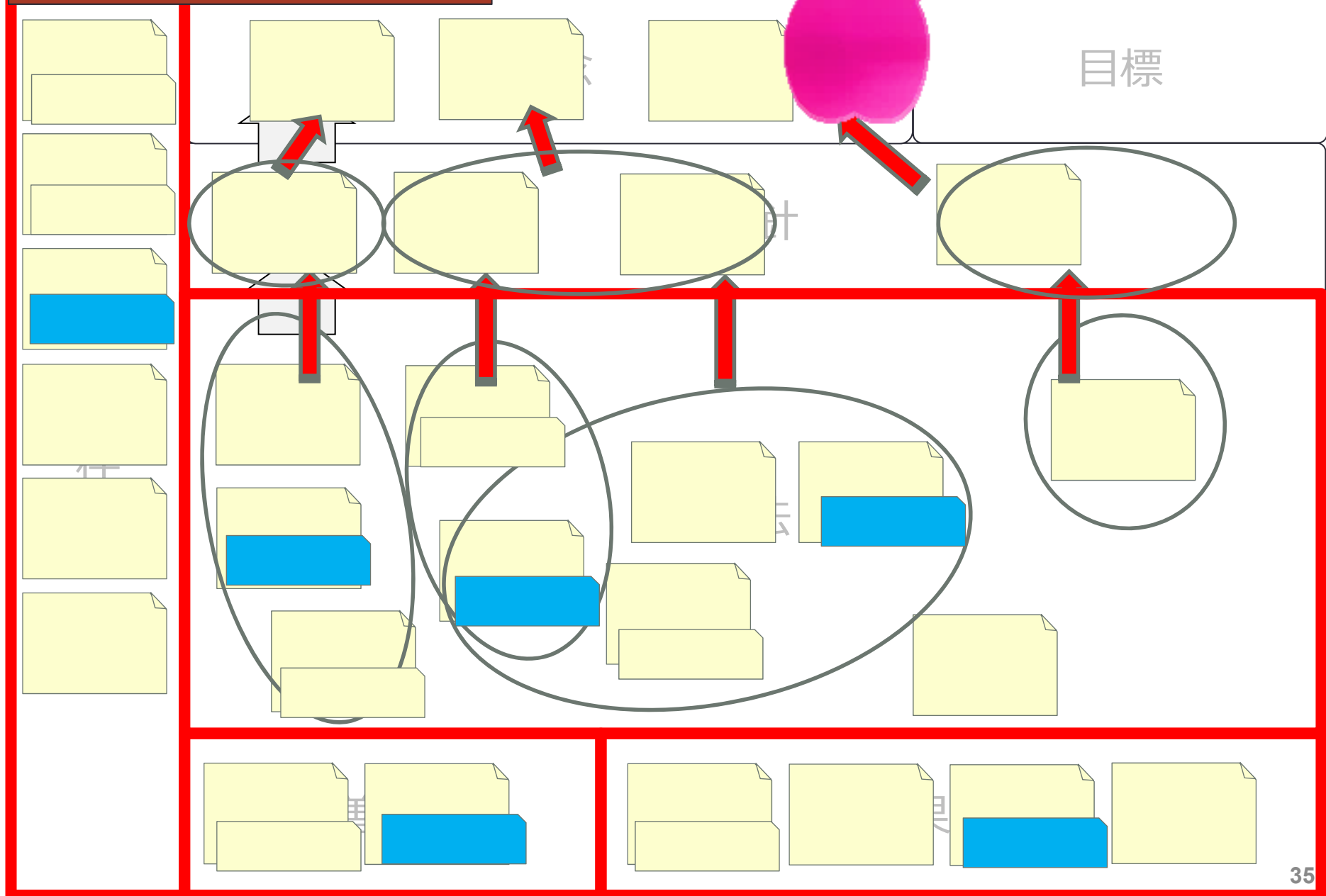


エビデンス

感想

3 minずつ

目標



短期目標として「方法」「改善・努力」「成果・評価」に書き出して見ましょう。できる・できないが明確にわかるよう具体的に書きましょう。

(目標の具体例)

方法: ルーブリックをとりいれる

ポスター発表をとりいれる

授業案をつくり、毎授業後に改善する

改善・努力: クラス運営についての研修に参加する

教科教育に関する研究集会に参加する

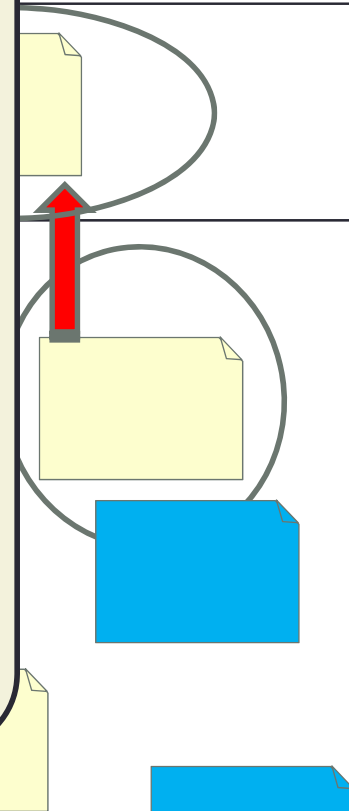
成果・評価: 授業内容への興味・関心度を高める

模試の学校平均を○点に上げる

教育実践について学会で発表する

生徒の研究を○○へ応募する」

目標



目標

感想

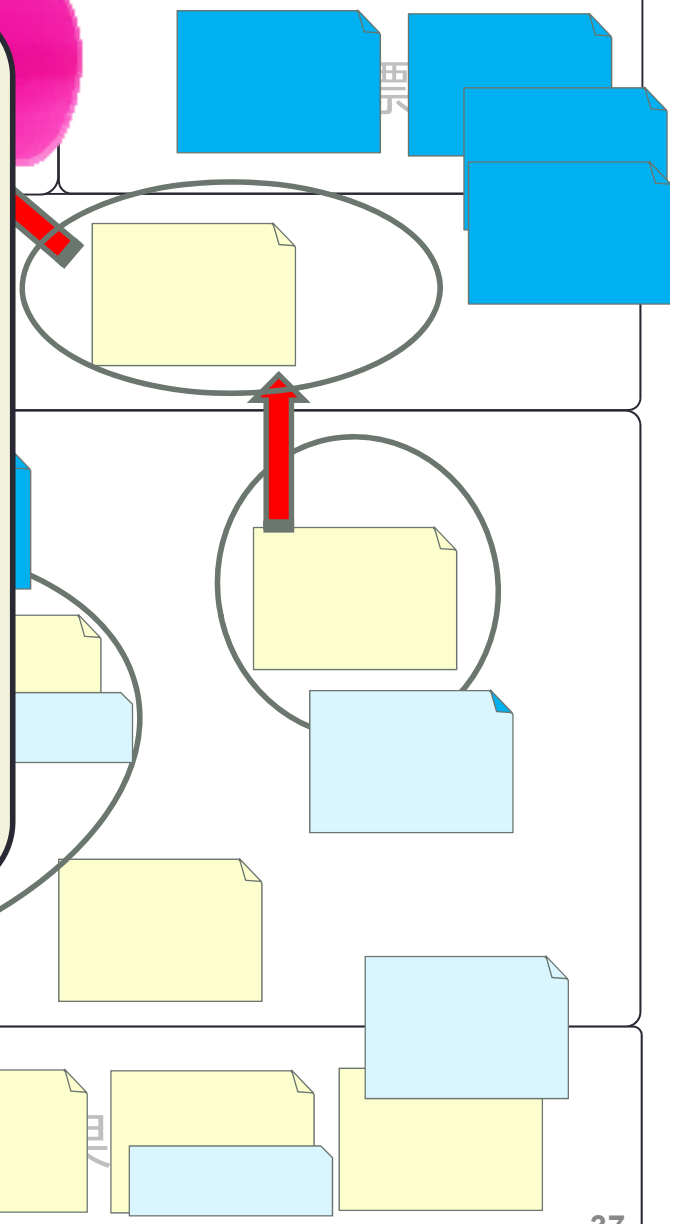
2 min

全体を見渡し、今後達成したいと考える教育に関する目標を考え「目標」のところに書き出しましょう。
その目標に向けた短期目標が設定出来る場合にはそれも具体的に書きましょう。

例：「単なる受験対策ではない生きる力として必要なことを教える授業をつくりたい」

このための短期目標

- ・国内外の理想の実践を探す
- ・学内外で仲間を見つける
- ・正規授業とは別にやってみる

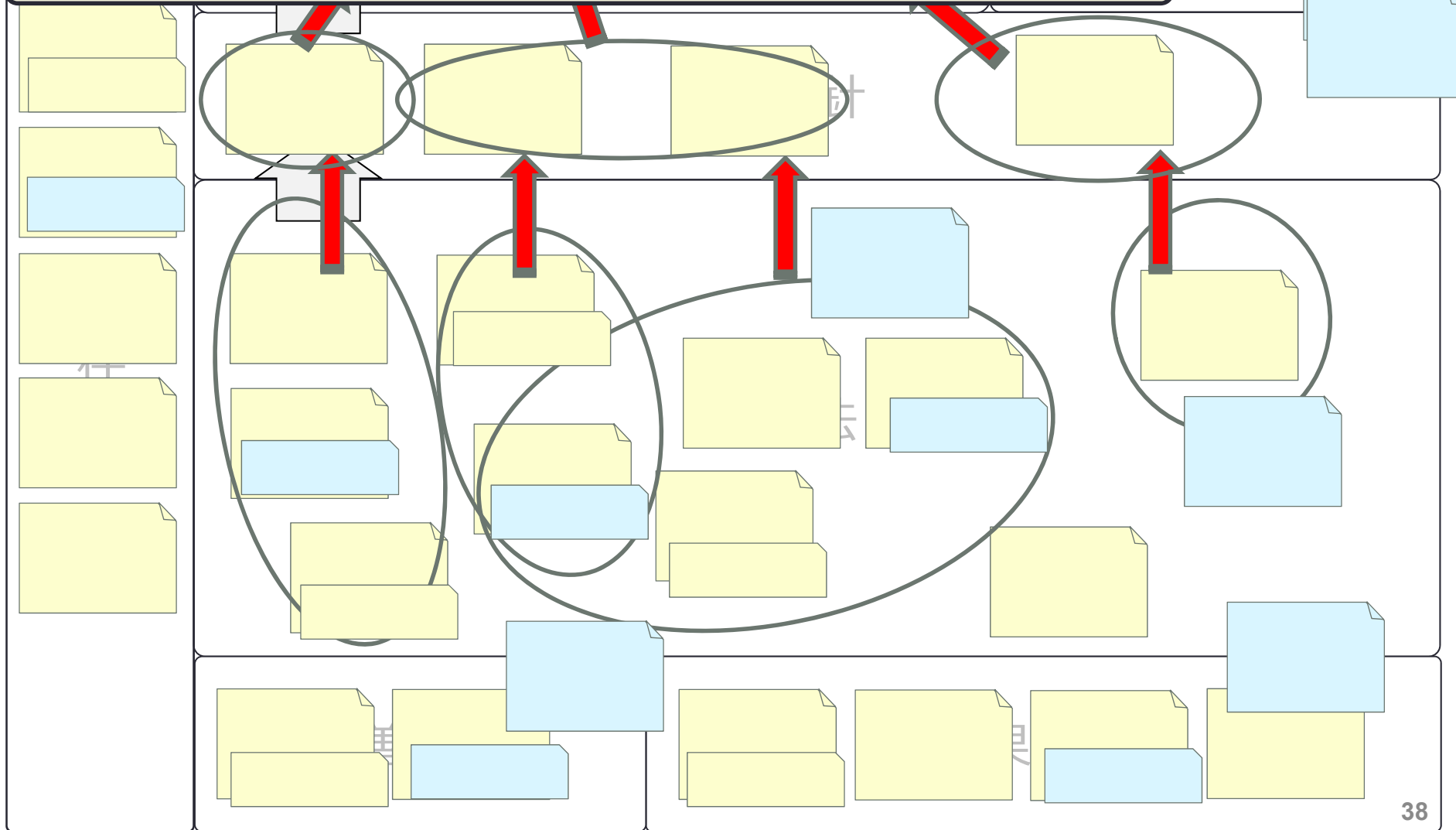


感想

感想

2 min

TPチャート作成をふりかえり，感想を記入してください。



シェア4 目標

手元のチャートをもとに、ご自身の理念をまえおきにしつつ、短期目標および長期目標を中心に説明してください。

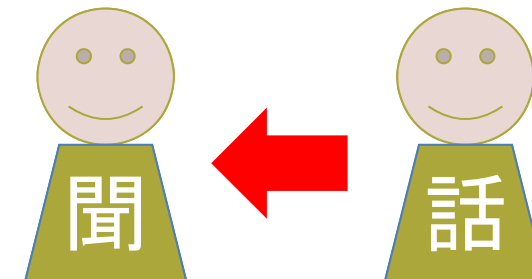
あわせてTPチャートを作成してみた感想をシェアしてください。

<話し手>

- 目標を決意表明として相手に説明する
- TPチャートを作成した感想を伝える

<聴き手>

- まずは聴くことに徹する
- 目標なので特に否定しないこと



終了です いかがでしたか？



教育活動が整理できましたか？
どんな気づきがありましたか？
メンターの疑似体験もしました
(作成支援者)